

東京鐵工組合執行委員 田中小二郎

今や全世界、資本家階級は全世果、労働者階級は骨抜きに仕様トシテ、労働ハ商  
品デアル、故ニ賃銀ヲ以テ左右スマキデアル。明日ノ商品ハ今日ノ労働ニ依リ定ムル  
ニキデアル、此賃銀ヲ定ムルハ吾々、生活ノ費デアラネバナラス、又病業、負傷、失  
業ノ場合ノ費用ニ含マネバナラス、又吾々ハ老休ニ成リ第ニ労働ヲ給スル子供ノ  
養生教育ノ費ニ含マネバナラス、又然ルニ吾法規ハ公傷ノ場合ニ就テノニ制定ヲ  
見ルカ他ノ場合ハ何トスルカ、此現在ノ制度ニ不満ヲ抱キ乍ラ現在ノ不啻ノ賃銀  
ニ止マナク働カサレ居ル弱キ身ニ不啻ノ値下ヲ漸行スルトハ是吾等ニ産業力ニ  
抗葉セヨト云フ暴壓ガナクテ何カ、福田川精鐵所ノ取ツテ所為ハ日本ノ文化  
ト立座業ニ影響スル所ヲ起シテ居ル會社ハ社會ノ平和ヲ亂サントシテ挑戰ニテ  
居ル最高一團九十銭ニ割値下ゲラサレ吾々ハ生キテ行カルハカ即チ人間ノ生  
存權ヲ得バクニ茲ニ戰ヲ惹キテ台湾ノ生養ハ人間ノ首ヲ迄ヒ數ノ多キヲ以テ誇ト

スル會社ハ職工ノ首ヲ迄ヘテ悦ブ生養人ト同一視出来レカ、處ゴソウデナイ交友  
會ナド、味チ會合ヲ作ツテ吾労働組合ヲ輝壓セントシテ労働組合法ハ提案  
通過スレノモ迫リテ居ル事議論停案ハ通ツテ労働組合ヲ認メテ居ル目下ノ我國  
政デアル、然レニ會社ハ平和ヲ亂ハ云々。

東京鐵工組合長 内田 藤 七

資本家ハ安イ賃銀中ヨリ不啻ニ値下ラヌル、彼等ハ常ニ何ントシテ賃銀ヲ値下ゲ  
スルカソノニ考ヘテ居ル、茲ニ労働者ヲ擁護スル處ノモ、ハ労働組合デアル、吾  
等ノ運動ハ貧乏人ヲ助ケスルノ運動デアル貧乏根絶ノ叫ビデアル、今日ノ  
労働者ノ地位ヲ得タハ何ノ為ノカ右果的ニ労働者ノ團體ニタカニ依リ今日迄  
犧牲ヲ拂ツテ運動ハ吾々ノ義務デアル諸君ヨ會社カ好景案トシテ賃銀ノ値  
上ゲテ一新シテ時ハ物價ハ一割五分ハ上ツテ居ル事ヲ考ヘテ私モ二十幾年前